



## 春風秋霜～「挨拶」と「掃除」について～

2月14日（月）に、全校朝会を行いました。令和3年度の全校児童が一緒に行う朝会はこの日が最後となりました。校長先生は、子どもたちに次のような話をしました。

本年度、最後の全校朝会です。皆さんに、お話をする機会も、6年生へは卒業式、5年生以下の皆さんへは修了式が最後になります。

そこで、全校の皆さんに共通する、この1年間のまとめとなるお話をしたいと思います。先日、先生方と皆さんの学校生活について、1年間の反省をしました。皆さんの成長がたくさん見られ、とても嬉しく思いました。例えば、「仲間とともに楽しく学校生活を送っている」や「先生や友達の話をよく聞き、自分の思ったことや考えたことをしっかり発表する」など、皆さんの充実した1年間であったことが分かります。

一方、課題も見られました。2つ挙げるとすると、一つ目は、「挨拶」です。進んで気持ちのよい挨拶をするということです。二つ目は、「サイレント掃除」です。進んでサイレント掃除に取り組むということです。

「挨拶」や「掃除」は何のためにするのでしょうか。わたくしは、次のように思っています。「挨拶」は、お互いが心と心でつながる魔法の言葉だと思います。心の中で、「今日も頑張ろうね」「いい一日だったね」など、相手を励ましたり労ったりする思いを込めて、「お早うございます」や「さようなら」という挨拶をします。また、「掃除」をすることで、自分の心を磨くことができます。感謝の気持ちをもって、学校をきれいにしようとして一生懸命に掃除をすれば、自ずとサイレントになるでしょう。

最後に、皆さんに次の言葉を紹介し、本年度の全校朝会を終えたいと思います。それは、江戸時代後期の儒学者、佐藤一斎が書いた「言志後録」にある言葉で、「春風秋霜」という言葉です。「春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを肅む」、意味は「春の風のように人には爽やかに接し、秋に降りる霜のように自らを厳しく律する」という箴言です。

春風のように爽やかに「挨拶」（返事）ができる人は、それだけで、その人の人柄のよさ、気持ちのよさが伝わってきます。そして、「掃除」をつらいと思っている人がいたら、秋霜のごとく、自分に厳しく一生懸命に掃除に取り組むことで、強い自分に成長させてほしいと思います。

このような生き方ができるように、「山小ベース」があるのだと思います。これからも、是非、「山小ベース」を大切にして、附属山口小学校の子どもに相応しい人に育ててほしいと願い、本年度、最後の全校朝会でのわたくしのお話を終わります。

校長先生の話全校朝会の後、各学年、クラスで発達段階に合わせて担任が話し、子どもたちに考えさせました。各クラス、挨拶や掃除の具体的な取組について話し合っているところですので、それぞれのクラスのめあてについて、またお知らせいたします。

## あいさつ運動(学校生活向上委員会)

これまで、学校生活向上委員会が中心となって代表委員会などで学校生活の課題について考えてきました。また、その中で、「地域の方々がどのように思っておられるのか、どのようなことを感じておられるのか」ということを知りたいということで、やまぐち学園学校運営協議会でご意見を伺うと、「登下校の様子やあいさつは今もよいのだけど、さらにあいさつが広がると地域としては嬉しい」というお話をいただきました。学校生活向上委員会にその事を伝えると、あいさつ運動に取り組んでみようということになりました。2月15日(火)の朝、学校生活向上委員会のみんが正門前に立って、登校してくる児童や学校前を通られる方々に、しっかりとあいさつをしました。あいさつの輪をもっともっと広げていきたいと思ひます。



## 3年生 からだと心の勉強会

2月14日(月)に学校医の田原先生をお招きして3年生が「からだと心の勉強会」を行いました。テーマは、「健康、自分でできる健康管理」です。子どもたちが事前に送っていた「心臓はなぜ動くのですか?」「手洗い・うがいをしても風邪をひくのはなぜですか?」「なぜ熱はでるのですか?」などの質問からいくつか答えていた



きながら学習が進みました。聴診器で心臓の動きを確認したり、早寝早起き朝ご飯の大切さなど教えていただいたりする中で、子どもたちは健康についてしっかりと考えていました。自分の体は自分でしっかり守っていくということを意識して日々過ごしていきたいと思ひます。



## 5年生 外国語、国際理解学習

2月4日(金)の5校時に5年生が、外国語、国際理解学習を行いました。山口市の友好姉妹都市であるスペインのパンプローナ市の小学校に山口市の紹介をすることを最終目的に学習を進めているところです。この日



は、パンプローナ市から山口市にいらっしやっている元国際交流員のエフラインさんに、リモートでスペインのことやスペインの方々が日本のどんなことを知りたいのかについて教えていただきました。1, 2組同時にリモートでつないで行ったので、それぞれのクラスからのインタビューは限られたものになりましたが、スペインの方の生の声を聴くことができ、子どもたちにとって非常に有意義な学習となりました。